

第1回「君津イオンの森づくり」

林野庁 関東森林管理局 千葉森林管理事務所

公益財団法人イオン環境財団は、これまで多くの地域で「森づくり」を実施していますが、この度は、地域との協働をさらに強化することを目指し、関東森林管理局とモデルプロジェクトの森「君津イオンの森」の協定を令和2年12月24日に締結しました。この協定に基づく「君津イオンの森づくり」活動を、君津市からの協力をいただきつつ推進していくこととされています。



開会式の様子

令和3年4月17日に開催された第1回目の活動では、君津市の花であるミツバツツジをはじめ、千葉県内に自生する樹種であるコナラ、ヤマザクラ、ケヤキなど17種類1,800本をイオン関係者約300名が植栽しました。なお、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、関係者のみでの実施となりましたが、開催にあたり主催者（イオン環境財団 岡田元也副理事長）及び来賓（石井宏子君津市長、千葉大学大学院園芸学研究院 小林達明教授並びに関東森林管理局長）によるヒメコマツ（千葉

県レッドリストで最重要保護生物に指定）の記念植樹が行われています。

今後は、3年間で6,000本の植樹を実施していくとともに、市民ボランティア、君津市の小中学校、大学やNPO・NGOなどと連携し、森林の整備や苗木づくりなどの体験を通じた森林とのふれあいや環境教育の機会の創出など、植樹以外の様々な環境活動も予定されています。



植栽作業の様子



ヒメコマツの記念植樹